



KSU

九州産業大学

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

2020年7月9日

報道関係各位

九州産業大学

「大楠アリーナ2020」の完成について

～西日本最大級のメインフロアを有する複合スポーツ施設が始動～

九州産業大学が、創立60周年記念として2018年より建設を進めていました新体育館が3月12日竣工し、2020年度より利用を開始いたします。

学内公募により「大楠アリーナ 2020」（以下アリーナ）と名付けたこの体育館は公式バスケットボールコートが4面同時に設置できる西日本最大級のメインフロアを有し、5千人を収容する大型ホールとして学位授与式や入学式にも利用します。

アリーナには、各種競技の練習室として利用する9室の多目的室のほか、アスリートの基礎体力の向上とコンディション調整やボルダリングウォールをはじめ、各種のトレーニング機器を備えた「ストレングス&コンディショニングゾーン」（3階）と「フィットネススタジオ」（1階）を設置しています。

また、最先端の解析機器や測定機器を使ってアスリートのパフォーマンス向上やスポーツ教育のレベル向上のための研究・教育を行う各種実験室を有した複合スポーツ施設です。

大樹をイメージした28本の柱が天井を支える大屋根構造のアリーナの周囲には「竈ベンチ」や「マンホールトイレ」を設置しており、自然災害時には地域の方々に避難所として利用いただけるように各種防災備品を備蓄しています。

1974年に完成した現在の体育館は、耐震補強工事や設備の改修などを経ながら46年にわたり様々なアスリートを輩出するとともに地域社会のスポーツ振興と交流の場として利用されてきました。「大楠アリーナ2020」も地域社会に貢献するという精神を引き継ぎ、スポーツ大会などにも活用いただける地域社会の連携拠点として活用します。

大楠アリーナ2020の概要については別紙をご覧ください。

1. 大楠アリーナ2020 の概要

- ◇場 所 : 九州産業大学キャンパス内（福岡市東区松香台2-3-1）
- ◇構 造 : 地上3 階建て 鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造
- ◇延べ床面積 : 約17,500 ㎡
- ◇収容人員 : [2 階] アリーナ4,000 人 [3 階] 観客席 1,000 人
- ◇各フロア主要施設
 - 1 階 : ・多目的室1～9
 - ・動作解析室 (57.60 ㎡)
 - ・人体計測室 (69.33 ㎡)
 - ・コーチング演習室 (74.22 ㎡)
 - ・運動心理学実験室 (61.92 ㎡)
 - ・スポーツ医学実験室 (82.25 ㎡)
 - ・運動生理学実験室 (277.96 ㎡)
 - ・バイオメカニクス実験室 (316.17 ㎡)
 - ・フィットネススタジオ (282.56 ㎡)
 - ・卓球室 (392.84 ㎡)、測定室 (57.59 ㎡)、男女更衣室など
 - 2 階 : ・アリーナ (3,715.05 ㎡)
 - 3 階 : ・ストレングス&コンディショニングゾーン (715.27 ㎡)
 - ・ランニングコース (一周278m)
 - 屋外 : ・防災備蓄庫 (158.7 ㎡)、竈ベンチ (5 基)、マンホールトイレ (4 基)

2. 主要設備の特長

- ◇アリーナ : 公式バスケットボールコートが4 面同時に設置可能
 - ・式典等では4 千人分の席が配置でき、3 階の観客席1 千人と合わせ、計5 千人が収容可能。
 - ・IP カメラ連動多視点映像分析システム（オリンピック競技種目等世界大会で採用されている最先端の映像分析システム）を導入。アリーナ天井部に設置した18 台、他室設置6 台、移動式6 台、計30 台のカメラの映像を基に、競技のフォーメーションやフォーム等のチェックがリアルタイムで検証できる。映像は、配信可能。アリーナ設置規模としては**国内最大級**。
- ◇フィットネススタジオ
 - ・フィットネス機器を使用するトレーニングスペース、ヨガ・ピラティス、ダンス等を行うフリースペースを配置。200 インチ大型スクリーン、高精度カメラ、音響機器を設置。教育研究の他、公開講座等で広く一般に開放することによって地域の健康づくりのケアを行い「地域密着型大学」を実現する。
- ◇運動生理学実験室
 - ・低酸素ルーム (43.2 ㎡)
 - 酸素濃度11%・高度5,000mの常圧低酸素及び温湿度環境における心肺機能、エネルギー代謝能力等の環境試験が可能な高精度人工環境制御室である。アスリート養成のための高所トレーニングとしても活用可能。**西日本最大級の設備**。
 - ※ヒト生態情報一括管理システム
 - ※埋め込み型大型トレッドミル2 式、自転車エルゴメータを同時使用可能
 - ・高気圧酸素ルーム (11.8 ㎡)
 - 特注の高気圧酸素ルームは、酸素濃度40%、1.4 気圧の環境を提供可能。室内における休息、または低強度の有酸素運動による血流促進、疲労回復等、臨床研究が可能。最大8 名で使用可能。スポーツ活動後にミーティングを行いながら疲労回復に利用可能である。低酸素ルーム、高気圧酸素ルームを併設した設備としては、**九州の大学で最大**。

◇バイオメカニクス実験室

- ・3次元モーションキャプチャ解析システム

計測対象に貼付した反射マーカの三次元位置データをリアルタイムに取得。

フォースプレートと同期して計測を行い、力学的演算及び解析によって、床反力からカラダ全体や関節にかかる力を計測。

運動動作中のカラダの特徴を力学的視点から解析する。

- ・ハイスピードビデオカメラ
- ・フォースプレート6枚、他

◇動作解析室

- ・ゴルフシミュレーター（トラックマンシミュレーター）

ゴルフスイング、打球の弾道、着地点及び飛距離等をレーダーで測定する。個々のデータを分析し、ゴルフ技術向上を目指す。

◇ストレングス&コンディショニングゾーン

九州の大学では最大の広さ（715.27 m²）を誇り、一般学生、女性へ配慮した映像解説動画付き最新マシン、パワー系複合マシン、有酸素系マシン、コンディショニングゾーン、ボルダリングウォール等を設置。

専門科目授業を始め、学生や教職員の健康づくり、トップアスリートの筋力強化まで幅広く活用できるよう設計。地域の健康づくりを支援する施設としても想定。

※導入機器：ラテラルレッグプレス（ロシア軍隊導入機器・九州初導入）

ハンマーストレングス機（プラットフォーム11機、レッグプレス、ベンチプレス等）

トレッドミル18機、スミスマシン、ケーブル機器等を導入。